

氏名	HADI SUSILO ARIFIN		
授与した学位	博	士	
専攻分野の名称	学	術	
学位授与番号	博甲第1753号		
学位授与の日付	平成10年3月25日		
学位授与の要件	自然科学研究科生産開発科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)		
学位論文題目	Study on the vegetation structure of <u>Pekarangan</u> and its changes in West Java, Indonesia. インドネシア、西ジャワにおける <u>Pekarangan</u> の 植生構造とその変遷に関する研究		
論文審査委員	教授 千葉 喬三	教授 中村 怜之輔	教授 久保田 尚浩
	教授 丹羽 皓二	教授 吉田 隆志	

学位論文内容の要旨

Pekaranganは、インドネシアの伝統的な個人の庭であり、熱帯特有の生産性の高いアグロフォレストとして、多機能かつ持続的な土地利用である。しかし、近年の都市化ならびに、農村地域に特有な相続による細分化によって、特有の植生構造と機能が変化しつつあると考えられる。そこで、都市化ならびに、相続による細分化の2要因がPekaranganの植生構造と機能に及ぼす影響を検討した。その結果、都市化と細分化によって、鑑賞植物の増加、多様な利用のみられる非鑑賞植物の減少、階層構造の貧化が生じ、Pekaranganの有用な構造と機能が消失しつつあることが明らかになった。都市化に関しては、都市域においても、多様な非鑑賞植物への嗜好性がPekaranganの面積に強く依存し、Pekaranganの面積縮小を抑制する土地利用計画の必要性を指摘した。さらに、非鑑賞植物が最も維持される裏庭の重要性を指摘した。Pekaranganの細分化に関しては、必要最小面積を提示し、同時に農村地域特有のPekarangan共同利用を維持する必要性を指摘した。

論文審査結果の要旨

本研究は、インドネシアのアグロフォレストとして、土地のポテンシャルを効率よく利用し持続可能な土地利用であるPekaranganの植生構造を研究対象とし、その変遷を造園学的観点と生態学的観点から検討したものである。

Pekaranganは、インドネシアの伝統的な個人の庭であり、熱帯特有の生産性の高いアグロフォレストとして、多機能かつ持続的な土地利用である。しかし、近年の都市化ならびに、農村地域に特有な相続による細分化によって、特有の植生構造と機能が変化しつつあると考えられる。そこで、本研究は、都市化ならびに、相続による細分化の2要因がPekaranganの植生構造と機能に及ぼす影響を検討し、Pekaranganの有用な構造の保全手法を提案することを目的とした。その結果、都市化と細分化によって、鑑賞植物の割合の増加、多様な利用のみられる非鑑賞植物の割合の減少、および階層構造の貧化が生じ、Pekaranganの有用な構造と機能が消失しつつあることを明らかにした。都市化に関しては、都市域においても、多様な非鑑賞植物に対する嗜好性がPekaranganの面積に強く依存することを明らかにし、Pekaranganの面積縮小を抑制する土地利用計画の必要性を指摘した。さらに、非鑑賞植物が最も維持されうる裏庭の重要性を指摘した。Pekaranganの細分化に関しては、種の多様性と階層構造の観点から必要最小面積を提示し、同時に農村地域特有のPekarangan共同利用を維持する必要性を指摘した。

これらの知見は、都市化ならびに、相続による細分化によるPekaranganの植生構造の変化の特徴を明らかにし、熱帯地域において持続可能な土地利用であるPekaranganの保全手法に有用な示唆を与えるものである。よって、本学位審査会は、本論文が博士（学術）の学位論文に値するものと判定した。